

	< 審判指導チェックシート >	
(1) ゲーム管理・運営 (モダンハンドボールの理解)	両審判員、TD が立会いのもとトスを実施。メンバー表、登録証の確認。ユニホームの選択は適切か	
	ゴールやゴールネット、ボールの確認を行ったか。定刻でのスローオフか	
	コート上での立ち姿、振る舞い、選手・役員とのコミュニケーション	
	ペアで同じ種類の黒い笛を使用しているか。口にくわえたまま観察していないか	
(2) 連携	オフィシャルとの連携・得点、公示時計の管理	
	役割分担は明確であるか(ペアの領域を判定していないか)。ペア間のバランス。	
	差し違えた場合、必ず①タイムアウト ②ペアで協議をしているか	
(3) ゲームの理解	コート上の安心・安全は確保されているか	
	アドバンテージが正しく判定されているか	
(4) 1 対 1 の局面	8の4「即座に 2 分間退場」を見極めているか。「ハードプレー」と「ラフプレー」は見極められているか	
	プロボケーション・オーバーリアクション・シミュレーションへの対応	
(5) 攻撃側の違反	違反を見逃していないか、探していないか。正しい防御活動を認めているか。明確なボディランゲージで基準を知らせているか。など	
(6) 7 m スロー	防御側プレーヤーの位置関係から明らかな得点チャンスを見極め、適切に7mスローを判定しているか。ノーゴールキーパー時の状況は整理できているか。など	
(7) 違反	違反を正しく判定しているか。明らかな得点チャンスを妨害され着地してシュートした場合は、7mスローに戻しているか。など	
	各種スローが正しく実施されているか。3mの距離を観察。修正後の処置。など	
(8) 時間の管理(モダンハンドボールの理解)	パッシブプレーの基準は統一されているか	
	「ウォーキングハンドボール」を認めていないか	
	不要なタイムアウト(チェンジボール・エリア内にモップを入れるタイミング)	
	負傷者への対応は適切であったか	
(9) 動き・位置取り・ジェスチャー	コート上の選手とボールから目を離していないか。判定後、選手とボールの動きを確認してから、次の行動に移っているか。走法に問題はないか。	
	ゴールレフェリーの際に同じ位置に立ち続けていないか(基本位置は6mラインとゴールポストの中間)、状況に応じて素早く移動できているか	
	7m スロー時コートレフェリー:スロアーの利き腕側・GK を観察できる位置か	
	得点合図の後に、位置を交代していないか。バックステップで動いていないか	
	GK なしでの攻撃(6人 or 7人)で、審判の位置取りは妨げになっていないか	
	手順は正しいか ①笛 ②方向指示 ③ジェスチャー(必要に応じて) ④ボディランゲージ 退場を判定の際、①タイムアウト ②ジェスチャー14 になっているか	
	正しいジェスチャーを用いているか。※罰則や7mT を判定した後は、はっきりと1回	

所属		レフェリー名	
----	--	--------	--

本人たちの課題

[illegible]

コメント:反省点・今後の課題 改善へのヒント など

日付		指導者名	
----	--	------	--